

2017年1月16日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池、 タイでシェルグループのサービスステーションに設置



タイ王国でシェルグループのSSに搭載されたソーラーフロンティアのCIS薄膜太陽電池 ([動画をご覧ください](#))

ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、タイ王国においてシェルグループのサービスステーション（以下：SS）にCIS薄膜太陽電池を設置しましたのでお知らせします。施工は現地の太陽光発電EPC専門会社であるエナジープロコーポレーションが担当し、SS内の施設2か所の屋根に合計21.76kWを設置しました。ソーラーフロンティアのCIS薄膜太陽電池が設置されたSSは、タイ王国中部に位置するチャチューンサオ県に新設されたものです。発電された電力はすべて自家消費され、環境配慮型の実現を可能にしています。

今回の設置は、シェルグループがアジア太平洋地域において進める大型プロジェクトの一環となります。このプロジェクトは、環境配慮型SSの普及を目指すもので、その第一弾として今回の太陽光発電システム搭載のSSが誕生しました。

タイ王国におけるシェルグループの代表者であるAsada Harinsuit氏は、次のように述べています。「我々のプロジェクトの第一弾を、ソーラーフロンティアと協業できて嬉しく思います。シェルグ

ループは事業活動を通じて低炭素社会の実現を目指しています。グループ内のノウハウ・技術力・革新力を生かし、より豊かでクリーンなエネルギーを模索することで、世界で拡大するエネルギー需要にお応えしていく考えです。」

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池は、実際の設置環境において優れた発電性能を発揮します。タイ王国においては、強い日差しや雨季などを含め年間を通じて節電と環境負荷の低減に貢献することが期待されています。また日本国内でも、昭和シェル石油系列の SS400 カ以上に設置されており、節電に貢献しているほか、停電時および自然災害の発生時に非常電源としての役割も期待されています。

ソーラーフロンティアは今後も、様々な地域や企業と協力し、太陽による快適でクリーンな暮らしを世界中のお客様にお届けしてまいります。

以上

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は、昭和シェル石油株式会社（5002, T）の 100%子会社で、世界最大の CIS 薄膜太陽電池のソリューション企業です。当社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、実際の設置環境における経済性および環境特性の高さが特徴で、これまでに住宅用・産業用の両面において革新的かつプロフェッショナルなソリューションをご提供してきました。ソーラーフロンティアは、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にお届けします。企業情報や最新ニュースの詳細は、当社公式の[ホームページ](#)、[コーポレートビデオ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)をご覧ください。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレート管理部 広報チーム
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792